

# 志を育てる教育

～あこがれから夢へ、そして志へ～

教科・領域 総合的な学習の時間

萩市立萩東中学校 2 学年

## キャリア教育の観点

職場体験活動の事前・事後学習を充実させるために、保護司や地域の方々を学校に招き、面接練習や体験活動の報告会を実施する活動です。第2学年の年間通した系統的な活動で、“夢宣言の会（立志式）”で将来の夢や目標を語ることで、志まで高めていくこともねらいとしています。具体的なねらいは次の3つです。

- ①職場体験学習を通して、自己の生き方を考える機会とする。
- ②望ましい勤労観、職業観を育む。
- ③他者に対して、自分の夢や将来の考え方を表現することで、しっかりと志をもたせる。

【自己理解・自己管理能力】【キャリアプランニング能力】

## 接遇マナー講座・面接練習

《接遇マナー講座》ねらい：コミュニケーションの基礎を学ぶ。

働く上で、必要となる“コミュニケーション能力”や、社会を生きるために身に付けるマナーなど、県内の官公庁・学校・企業を対象とした接遇マナー等の研修講師を招き、講話をいただいた。この中で、よいコミュニケーションの基本は、一方通行ではなく、ツーウェイコミュニケーションであることや、指導されたときにそれを受け入れ、「はい、わかりました」という言葉が大事であることなど、人間関係形成のために大切な事柄を生徒は学ぶことができた。



《面接練習》ねらい：体験先を選び、動機や体験してみたいことを語る。

職場体験活動の体験先が決定した後、体験を通して学びたいことや、自己PRなどを説明する“面接練習”を行っている。保護司の方や、退職校長の方などの協力により、教員以外の人に対して説明する場が、生徒にとっては新鮮に感じられるようである。自分の目的を明確にすることで、体験活動の充実へとつながるとともに、自分の生き方にもふれることができ、キャリアカウンセリングにつながる大変貴重な体験となっている。



## 職場体験活動

山口県が示す3つの視点の“自分ができること”や“社会が求めていること”を重視し、夏季休業中の二日間にわたり、76事業所で職場体験活動を行っている。勤労を通して、自分の将来の生き方（進路）を考える機会とするとともに、企業や各事業所の仕事が社会や地域に貢献していることを理解し、“ふるさと萩”のよさを発見することを目的としている。

事業所については、萩市の基幹産業である『第一次産業』の体験を『萩農下村塾事業』の一環として位置付け、昨年の9事業所から13事業所に増やした。

この事業は交通費の補助を受け、須佐・田万川・福栄など萩市近郊の農場など幅広く多種多様の体験の場を設定することで、働くことの意義や働く人の思いを感じ取ることができるようにした。

生徒は地域で働く大人の姿に接することで、普段見えない仕事の苦労や働く人の意義を感じているようであった。



## まとめ・発表会

職場体験学習のまとめとして、総合的な学習の時間を2時間使い、生徒や保護者、地域の方々に対して発表会を行っている。様々な職業の体験を聞いて、自分の将来を考えるヒントを得ることができる。今年度はクラスを2グループに分け、10会場で、一人5分程度の発表を行った。

職場の紹介、体験の内容、質問したことや学んだことなどを、紙芝居形式で画用紙に要点をわかりやすく書き、説明をした。

### 【例】

職場体験学習で学んだこと

体験先

〇〇鉄工所

2年1組 〇〇〇〇

職場の紹介

○従業員      △△人

○制作している製品

△△△      △△△ など

○どのような職種の人がいるか

作業班長・作業員・事務員…

当日までの日程（8時間）

①アンケート・フィードバック  
・・・1時間

②下書き作成（各教室）  
・・・4時間

③清書  
・・・1時間

④リハーサル  
・・・2時間

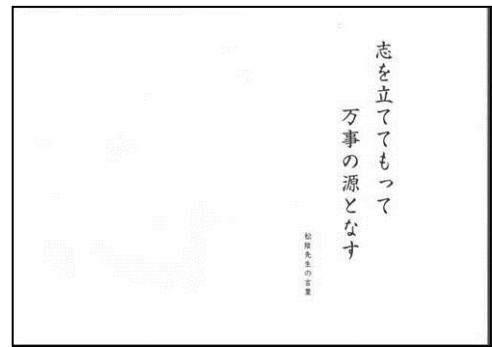


## 夢宣言の会（立志式）

萩市教育委員会から、萩市内の全中学校に“志シート”（右上図）が配付されており、自分の夢を左半分には書き入れることができるようになっている。

本校では、この“志シート”を活用し、職場体験学習で学んだことをもとに、将来の夢を語り、最高学年になる決意を、学年や保護者、地域の方に対して宣言する場を設けている。

自分の夢を語るとともに、仲間の宣言を聞く活動を通して、これからの目標や生き方について再度考えることができる貴重な機会となっている。



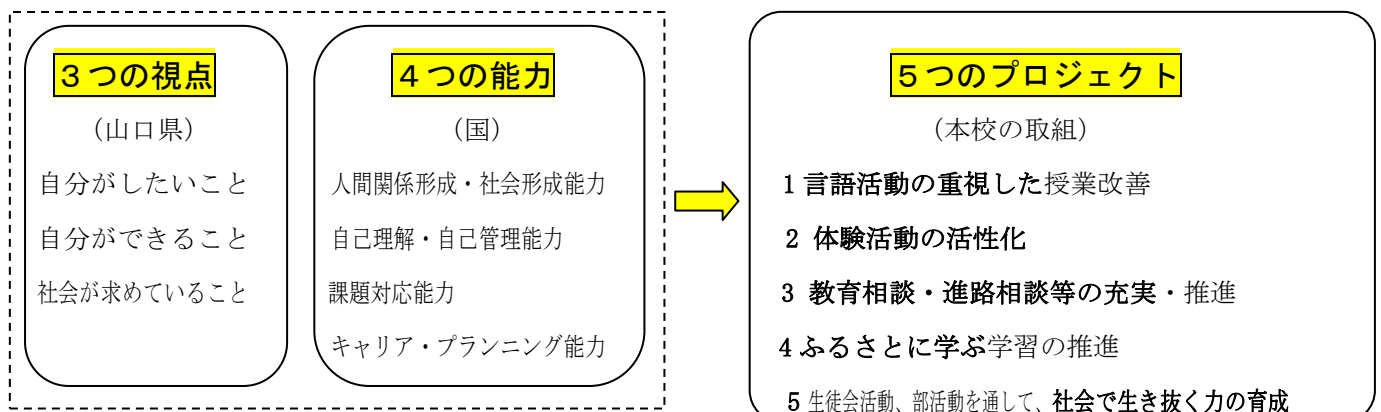
## 考察・課題

生徒にとっては、職場体験活動の事前指導である『接遇マナー講座・面接指導』では、社会人としての礼儀やマナーを学ぶとともに、職業に対する考えや、自分の生き方について考える機会となった。また、その中でコミュニケーション能力の育成など、本校のキャリア教育目標達成のための活動にもなる有意義な取組となっている。

課題としては、外部人材等の折衝の時間の確保と、体験先に対して学校としての目的を理解していただくための工夫である。今後、萩市教育委員会や首長部局とも連携して、外部の人材との連携や、体験活動の充実のための手立てを今後探していきたい。

## 全体計画との関連

今回の取組と、本校のキャリア教育の柱である3・4・5プロジェクト（グランドプラン）との関連を以下に示す。



2学年の“志を育てる教育”は、『2の体験活動の活性化』と『4のふるさとに学ぶ学習の推進』に大きく関わる。体験の事前・事後学習はもちろん、今年度は体験後のまとめの活動を重視し、生徒の工夫を凝らした発表会等を行う中で、生徒の伝える力など、将来における大切な力も同時に育てている。